

# 交通計画ニュース すむ～す

発行：2005年12月15日  
 編集：愛川町総務部企画政策課  
 電話 046-285-2111 (内線224) FAX 046-286-5021  
 E-mail : seisaku@town.aikawa.kanagawa.jp  
 交通計画ホームページ : <http://www.town.aikawa.kanagawa.jp/traffic/index.html>

☆町民の皆様にアンケート調査を行い、日常の移動や町内の交通に対する考え方などについて意見を伺いました。 回答頂いた皆様ご協力ありがとうございました

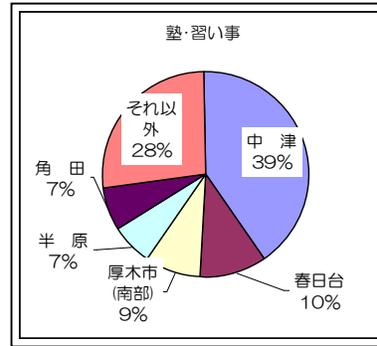
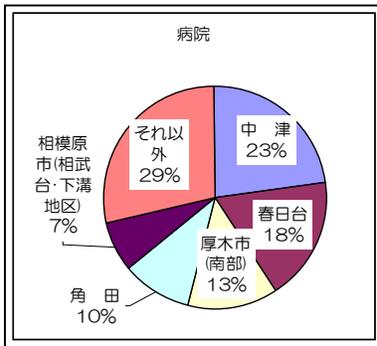
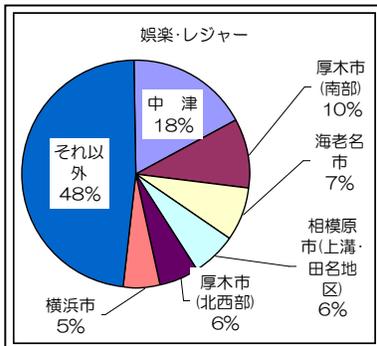
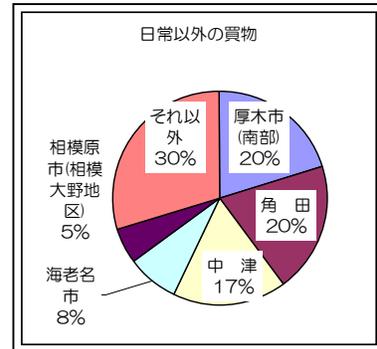
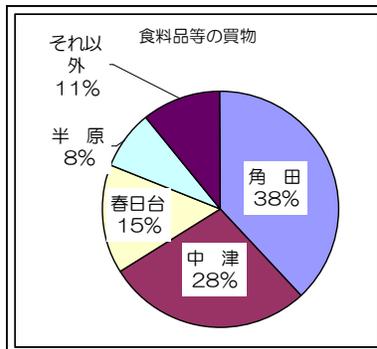
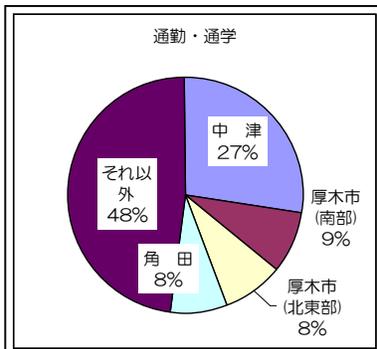
- 実施期間 2005年8月下旬～9月上旬
- 対象者 愛川町にお住まいの16歳以上の方
- 配布方法
  - ①対象者2,500人にアンケート用紙を郵送配布(地区毎の年齢構成・夜間人口比に応じて配布)
  - ②町内各施設にアンケート用紙を配架し、自由に回答
- 有効回答
  - ①配布アンケートについて : 994名(回答率39.8%)
  - ②留置アンケートについて : 24名
  - ①、②合計回答数 : 1,018名

## アンケート調査の主な結果

### ○どこに移動している？

- ・町内は中津・角田・春日台へ、町外は厚木市・海老名市への移動が多くなっています。
- ・「食料品等の買物」「通院」「塾・習い事」では町内に、「通勤・通学」「日常以外の買物」「娯楽・レジャー」では町外に移動することが多くなっています。
- ・鉄道を使う場合、本厚木駅と海老名駅の利用が約8割あります。

### 【目的別の行き先(平日)】



裏面につづく⇒

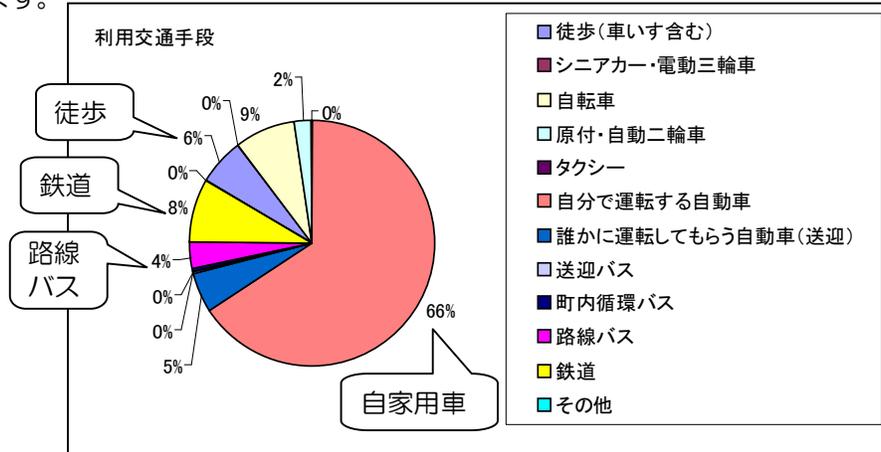
### アンケート調査の主な結果(つづき)

○どんな交通手段を使っている？

- ・目的を問わず、移動には自家用車を使う人が約7割となっています。
- ・自転車やバスは、以前は利用していたが、現在は利用していないという人が約3割です。

○どんなところが不満？

- ・通行上の安全性確保と路線バスの「運賃」や「運行頻度」などへの不満が多く、改善の必要性を強く感じています。

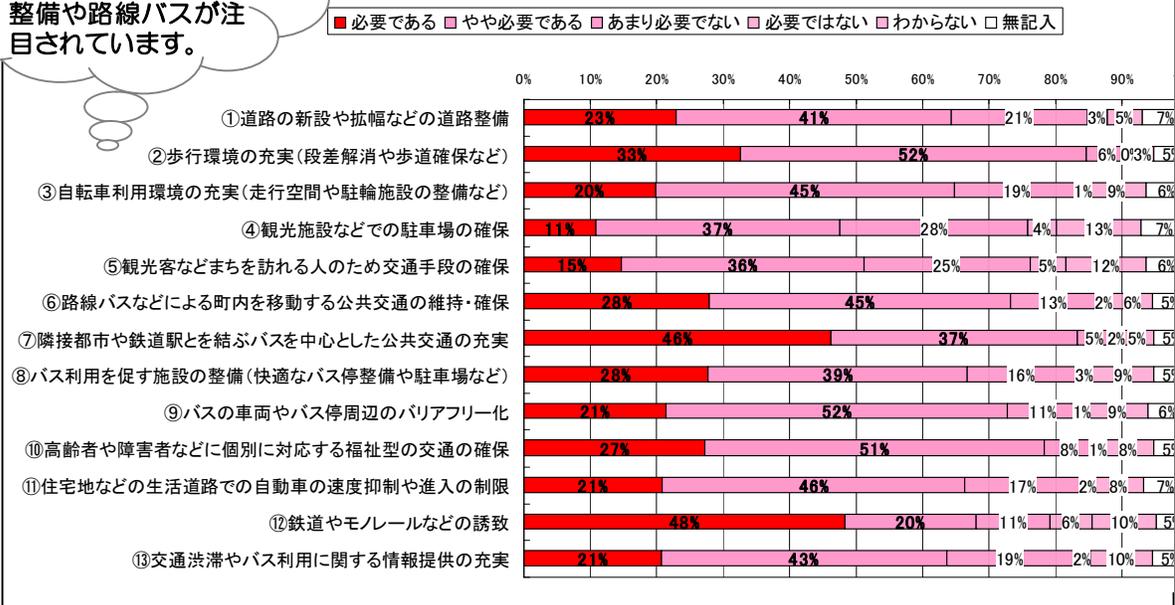


○これからの交通環境の整備についてどう考えている？

- ・現在以上に積極的な投資が必要と考える人が約6割を占め、その視点としては「安全安心の確保」をあげる人が最も多くなっています。
- ・移動のしやすさを確保する方面の重要度は、町全体では厚木市、愛川町内、海老名市、橋本方面の順に高くなっていますが、半原・田代地区の人は町内の移動が一番重要と考えています。
- ・将来的に必要な交通手段は、自家用車、路線バスが重要と考えられています。
- ・今後必要な交通政策として、「鉄道やモノレールなどの誘致」「隣接都市や鉄道駅とを結ぶバスを中心とした公共交通の充実」をあげる人が多くなっています。

必要、やや必要を合わせると、歩行環境整備や路線バスが目されています。

愛川町における交通政策の必要度



詳細は、交通計画ホームページか町役場でご覧いただけます。

☆ **住民の皆様や内陸工業団地の方々と意見交換会を行い、より細かく愛川町の交通に関する意見を伺いました。** 参加頂いた皆様ありがとうございました

○実施期間

2005年10月下旬～11月上旬

ご協力ありがとうございました。

○地区別意見交換会

愛川地区：10/26 ラビンプラザ 21名  
中津地区：10/28 レディースプラザ 21名  
高峰地区：10/31 福祉センター 15名

○団体別意見交換会

福祉関連団体：11/2 福祉センター 8名  
内陸工業団地：11/8 団地会館会議室 17企業

○意見交換内容(地区&福祉団体)

普段の外出について  
町内の循環バスについて  
町内外の交通環境について

○意見交換内容(内陸工業団地)

通勤の実態について  
企業バスの運行実態や共同運行について  
交通政策全体に対する意見

**地区別・団体別意見交換会の主な意見**

○町民の普段の移動について

- ・町内、隣接市町村の移動はほとんどがマイカーを利用。
- ・横浜や都心へは、海老名駅や本厚木駅周辺の駐車場にマイカーを置いて電車を使って行くことが多い。

○路線バスや町内循環バスについて

- ・バスに合わせた生活を強いられている。
- ・通学交通費の経済的負担が大きい。
- ・時間が読めず使いたい時間に使えない。
- ・町内循環バスは有料化しても良いので、本数や停留所を見直してもっと便利なバスにして欲しい。

○将来の生活を考えると……

- ・交通環境の悪さから町を離れる人もいるし、高齢者だけの世帯が増えていて町が衰退してくことが心配。
- ・いずれは車を運転できなくなると思うが、その時の交通手段がないので心配。
- ・徒歩や自転車を利用するにも危険が多い。

皆さん、将来の移動に関して不安に感じられているようです。

○内陸工業団地における交通課題について

- ・マイカー通勤用駐車場が不足しているが様々な制約で増やせないため、事業拡張にも支障をきたしている。
- ・企業バスの運行には苦勞している。共同運行の計画が以前あったので実験的にでも取り組めるとよい。
- ・事業計画立案にも影響するので明確な交通環境の整備に関するビジョンを示して欲しい。



地区別意見交換会の様子



工業団地の意見交換会の様子

詳細は交通計画ホームページか町役場でご覧いただけます。

☆ **愛川町への来訪者にヒアリング調査を行い、交通手段や来訪の回数などについて意見を伺いました。** ヒアリングにご協力頂いた皆様ありがとうございました

○実施期間

2005年9月18日(日)

○ヒアリング場所

県立あいかわ公園、半原・燃糸組合前・半僧坊バス停  
田代運動公園付近河川敷、八菅橋付近河川敷、八菅神社駐車場

○ヒアリング方法

来訪者に直接ヒアリング(1対1)

○回答者数

109名

東京、横浜方面からも遊びに来ています。

**ヒアリング調査の主な結果**

○来訪者の住まいは？

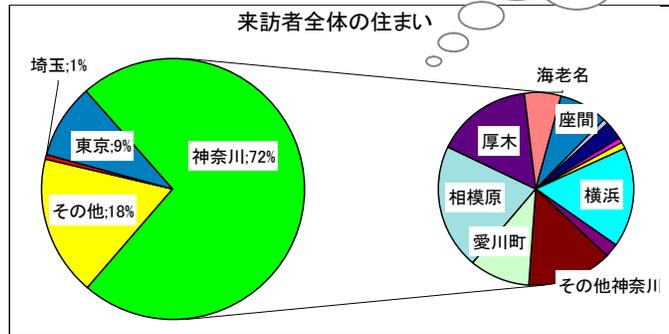
・7割が神奈川県。県内では厚木、相模原、横浜からが多い。

○来訪者の交通手段は？

・自家用車利用が9割を占めており、路線バス利用は1割にも満たない。  
・バスを利用しない理由は「不便」と答えた人が約4割。

○来訪の回数・頻度は？

・はじめてと答えた人(グループ)が約3割だが、2回目が16%、3回目が12%、それ以上の回数が約4割あり、いわゆるリピーターが多い。  
・来訪時の同行人数は、3～4人が最も多い。



詳細は、交通計画ホームページか町役場でご覧いただけます。

☆ **皆様のご意見を踏まえ、第3回愛川町総合交通計画策定専門委員会を11/29(火)に開催しました。**

第3回委員会では、「町民アンケート」「来訪者ヒアリング」「地区別・団体別意見交換会」で得られた移動に関する実態やご意見を確認し、交通計画の基本方針の定め方について議論しました。会議では国や県、交通事業者などの各委員の方々から以下のようなご意見をいただいています。

- 移動や生活の実態と理想的な要望を仕分けして、現実的な計画、着実に取り組める計画とするべき
- 基本方針は将来の町の姿や生活を町民が思い描けるものとするべき



委員会では、引き続き町民の移動実態や移動や政策に関する要望について 第3回策定専門委員会の様子分析を深めながら、交通計画の基本方針の設定に向けた検討を行っていきます。

☆ **交通計画ニュースの愛称が「すむ～す」に決まりました！！**

交通計画ニュースの愛称を募集し選考した結果、「町の交通も、仕事も、みんなスムーズになる」という理由にちなみ、愛称を「すむ～す」に決定しました。応募いただいた皆様のご協力、誠にありがとうございました。

今後とも委員会での協議内容や町からのお知らせを、皆様のお手元に「すむ～す」にお届けしていきます。また、皆様からのご意見やアイデアがあれば、お気軽に企画政策課までお寄せ下さい。